

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	4 1	学校名	仙台市立旭丘小学校	校長名	佐藤 康隆
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

「ごみの分別, 地球にやさしく・花いっぱい笑顔いっぱいの学校」



2 取組の紹介

(1) ごみの分別

各教室に, 見て分かる燃えるごみ用, プラスチック用のごみ箱を設置し, 進んで分別ができるようにしています。ごみ置き場にも分かりやすい表示があり, 学年問わず分別しやすい環境を整えています。また, 職員室でも, 古紙を再利用するなど学校全体で環境に優しい意識が育つように取り組んでいます。



(2) 緑化活動

① 学年ごとの取組

- ・春…全校児童で一人一輪の花の苗を学年花壇に植え, 花の世話をしました。コロナ禍のため感染防止策を実施した上で, 皆で協力して雑草取りをしながら大切に育てました。
- ・秋…学年ごとに「朝顔」「マリーゴールド」「サルビア」の種取りをし, 来年につなげる予定です。
- ・冬…来春に向けて「チューリップ」「水仙」の球根と, 冬の花「パンジー」「ビオラ」「葉ボタン」を植えました。



② 緑化委員会の取組

- ・朝と放課後, 毎日花壇と中庭の花に水やりをし, 花と緑のあふれる学校を目指しました。
- ・雑草取りをしたり, 枯れた花を取り除いたりしたものは腐葉土にしました。

3 取組の成果

学校全体での取組を継続していくことで, 児童のエコ活動や花や環境への関心は高まっています。特に各学年で, 一年をとおして花壇作りをすることで, 自然を大切にするという気持ちも高まってきたこと, 「来年につなげていきたい」という思いやりの気持ちも育っています。今後も身近な環境に目を向け, エコ活動に取り組んでいきたいと思えます。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	42	学校名	仙台市立遠見塚小学校	校長名	石橋 雅之
------	----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

「学校全体で環境に優しい意識を持とう」



2 取組の紹介

(1) 学校全体の取組

各教室では、プラスチック用と燃えるごみ用の表示を付けた二つのごみ箱を設置しています。また、給食時間ではストローやストローの袋を分別して捨てるように指導をしています。資源ごみである段ボールは、一カ所にまとめて捨てるようにしています。毎年継続して行うことで、分別する意識を育てていくことができます。裏紙は可能な範囲で、職員内で再利用しています。また校舎内では、3Rやごみを減らす呼び掛けのポスターが掲示してあり、学校全体で環境に優しい意識作りも行っています。



(2) 6年生の取組

6年生では、「SDGs のポスターを作ろう」の学習で食品ロスについてポスターにまとめました。班ごとにまとめ、校舎内に掲示しました。



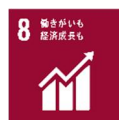
3 取組の成果 (児童生徒の変容)

環境に優しい取組を、学校全体で毎年継続して行っていることで、児童のエコに対する意識が高まっています。また、学年での取組を掲示することで、興味を持った下学年が「給食を残さないで食べよう。」とつぶやいている姿も見られました。一人一人ができることを考えて行動しています。今後も、継続して行うことや、新しく取り組めることを考えながら、環境に優しい取組をしていきたいと思ひます。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	43	学校名	仙台市立中山小学校	校長名	宮崎 善功
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 「エコ・スクール中山」



2 取組の紹介

①日常的な取組として

燃えるごみとプラスチックごみの分別を各教室で行っています。学年に応じて分かりやすくごみ箱に表示しています。



②全校奉仕活動

全校奉仕活動を例年11月に行っています。主に校内の落ち葉やごみを拾いました。今年は校舎建て替えのためプレハブ校舎への引越しのに伴い、校庭が狭くなり、活動の場が限られてしまいましたが、各学年時間をずらすなど工夫して取り組みました。



③小中連携地域清掃活動

11月11日(金)に中山中学校の生徒と一緒に、学校近隣の公園や、通学路の脇などにある落ち葉と、ごみを拾い集める清掃活動を行いました。



3 取組の成果

日頃からごみの分別を行うことで「このごみはプラスチックごみかな。」と考える姿が見られました。また、全校奉仕活動や小中連携地域清掃活動では、集めた落ち葉やごみが入っている袋を見て充実感を得ると共に、普段もきれいにしていこうという意識を持つことができました。



令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	44	学校名	仙台市立八本松小学校	校長名	田中 孝子
------	----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

広瀬川及びその河川敷を利用した学習



2 取組の紹介

本校は広瀬川の河川敷に隣接しています。校歌にも「山ははるかに 川はめぐり」と歌われており、河川敷・広瀬川・そこから見える山々は、八本松小学校のアイデンティティとなっています。

そこで、本校では川・川原を生かした学習に対して、継続的に取り組んでいます。1・2年生は1学期の校外学習で川付近を歩き、水辺の自然に関心を持ちます。また、3・4年生は総合的な学習の時間の一環としてそれぞれにテーマを持って自然の観察・調査を行っています。

3年生は河川敷に住む虫や植物の様子を定期的に観察し、紙にまとめることでその変化に気付くことができました。

また、持久走大会では河原の周辺を走ります。同じ場所を毎年走ることによって、その変化や光景に愛着を持つようになることを期待しています。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

川を楽しい場所と認識しており、そこにいる虫や魚の名前が児童の口から多く出ます。図画工作などの題材で、広瀬川やそこに住む生物について表現する児童が多くいます。また、都心部であり、アパート・マンションに住む児童が大半ですが、草遊びや、虫の採集・飼育などを好む児童が多く、進んで学校で飼育を始める児童もいます。広瀬川・河川敷の景観を意識的に毎日ながめているため、紅葉や落葉など、自然の変化にはすぐ気付きます。このような児童が多い点は、広瀬川・河川敷を利用した学習の成果であると考えられます。

また、天候の変化を川の様子から察する児童もおり、「川が濁っているね。上流では雨だったのかな。」というように、科学的な見方・考え方に沿って広瀬川を見る児童もいます。広瀬川での学習をスタートにして、児童らの興味・関心が引き出されていることが分かります。成果としての視覚化が困難ではありますが、児童らが川の学習を起点に、その興味や意欲を様々な教科に広げていることは、現場で働く教職員にとって明らかであり、今後もまた同様の学習を継続して行く予定であります。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	45	学校名	仙台市立上野山小学校	校長名	浅野 郁子
------	----	-----	------------	-----	-------

1 取組のテーマ

環境教育について



2 取組の紹介

(1) SDGs 環境出前講座～気候変動編～

ストップ温暖化センターみやぎによる講座で、5年生がSDGsについて学びました。持続可能な社会を実現するための、17の目標にはどんなものがあるのか児童は興味深く話を聞いていました。

今回は、気候変動について詳しく学習しました。気候変動として、「猛暑日、熱中症、大型台風、土砂災害、ゲリラ豪雨、氷河の減少、海面上昇、山火事、サンゴの白化」などが既に起こっているということに児童は驚き、どんな対策ができるのかという疑問を持ちました。

そこで、実際に家庭で取り組むことを目的としたWeb教材を活用して、自分たちができることを考えました。気温の上昇を1.5℃以下に抑えるためには、今から行動しないと手遅れになるということを実感を受け止めて、具体的にどんな対策をするとどれくらい効果があるのかを理解することができました。



(2) 楽元の森

上野山小学校には、校庭の隣に「楽元の森」という自然と触れ合う活動ができる場所があります。2年生の生活科では、年間を通して季節ごとの自然を感じる学習を行っています。秋には大きな葉っぱを拾ってお面にしたり、沢山の落ち葉の中を駆け回ったりして自然を体全体で感じるすることができました。

児童は「落ち葉がふかふかで気持ちがいい」「顔よりも大きい葉っぱがあるなんて知らなかった」と目を輝かせて自然に触れ合っていました。



恵まれた自然環境を生かして、季節を感じる様々な活動を行っています。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

講師を招いての環境学習や「楽元の森」での自然学習をとおして、環境を守る大切さや身の回りにある自然の豊かさに気付くようになりました。また、学んだことを基に自分でできることを考えたり、感じたことを言葉で表現したりすることができるようになり、自然環境への興味・関心も高まっています。

来年度も、豊かな自然を身近に感じ、大切に育てていきたいと思っています。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	46	学校名	仙台市立福室小学校	校長名	星 恭典
------	----	-----	-----------	-----	------

1 取組のタイトル, テーマ 福室の案内人になろう



2 取組の紹介

① 海のゴミの現実を知る授業



- ・かわいそう。
- ・死んでしまうかもしれない。

- ・助けてあげたい。
- ・助ける方法はあるのかな。
- ・海を汚すと大変なことになる。

② 総合的な学習の時間の授業で七北田川を見に行く



- ・川はどこまでいくのかな。
- ・川が茶色くて、水が汚いように見える。
- ・河原にもゴミが落ちているね。
- ・大雨が降ったら、ゴミも海に流れていくかも。
- ・川と海はつながっているよ。

③ 自分たちができることを考える授業

- ・ゴミはゴミ箱に捨てる。
- ・ゴミを分別する。
- ・家庭で、授業で学んだことを話す。
- ・皆で川や海を汚さないようにする。
- ・給食を残さないで食べる。
- ・リサイクルできるものはリサイクルする。



④ 発信する

総合的な学習の時間での取組
～福室の案内人になろう～

- ・かるた作り
福室の自然や歴史をかるたにする。
- ・授業参観でかるた大会
保護者とかるた大会をすることで、自分たちが調べたこと、感じたこと、考えたことを発信する。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

海のゴミの現実を知る授業では、地球上では様々なことが起こっており、人間のせいで苦しい思いをする生き物がいるということを知って子供たちは衝撃を受けていました。身近な場所に目を向け、学習していく中で、「自分たちにできることはなんだろう？」という思いにたどり着きました。また、総合的な学習の時間に我が町「福室」について調べ、自分たちが住む町の歴史や自然の良さに気付きました。そして、子供たちは、福室に住んでいて、仙台に住んでいて、宮城県に住んでいて、東北に住んでいて、日本に住んでいて、地球に住んでいるという考えを持って、一人一人が皆で気を付け合えば、人間にも生き物にも住みやすい、きれいな地球にしていくことができるという気持ちになりました。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	47	学校名	仙台市立北仙台小学校	校長名	菅澤 美香子
------	----	-----	------------	-----	--------

<活動テーマ>

地球に優しい活動をやってみよう



<取組の紹介>

【緑化活動】

環境委員会では、春と秋の年2回それぞれの季節に合った花を学校の敷地内の花壇やプランターに植える活動を行いました。輪番で水やりを行ったり、草取りを定期的に行ったり、年間を通して「緑を守る」活動に取り組みました。



【おもちゃ祭り】

2年生の生活科では、手作りおもちゃを作り、1年生を招待するおもちゃ祭りを開きました。手作りおもちゃを作る際には「身の回りにある素材を再利用して作ろう」と知恵を絞り、ダンボールで遊び場を作り、発砲スチロールトレイやプリンカップなどで動くおもちゃをとても楽しく作成することができました。片付ける際にも、分別を意識して片付けました。



【ふゆをたのしもう】

冬の遊びの一環として、凧揚げに取り組みました。普段は、TVゲームやYouTubeなど電子機器を使用して遊ぶことが多い子どもたちが、自然の中で、風を受けて走り回り、元気いっぱい凧揚げを楽しむことができました。頬を真っ赤にして教室に戻ってきた子どもたちは、自然の中で遊ぶすがすがしさを全身で味わっていました。



【地域素材水の森公園の活用】

3年生は総合的な学習の時間に、学区内にある水の森公園を生かした活動に取り組んでいます。自然豊かな水の森公園を守るために防火キャンペーンの標語を作成し、地域の消防署の方々と取り付けることができました。

<取り組み成果>

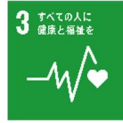
子どもたちは、当たり前にある身近な自然に目を向け、その豊かさ、美しさに触れることで、自然のありがたみ、魅力を感じることができました。そしてそこから、自然を守っていかうという心情を育むことができました。当たり前「ある」ものだからこそ意図的に働き掛け、気付かせ、その利用法や楽しみ方を考えさせることが環境保全について考えるきっかけにつながったと感じています。

令和4年度 社の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	48	学校名	仙台市立折立小学校	校長名	大友 雄一郎
------	----	-----	-----------	-----	--------

1 取組のテーマ

～ 歩き出そう SDGs の中のエコ ～



2 取組の紹介

<委員会での取組>

① ペットボトルキャップ回収

環境委員会が中心となり、ペットボトルのキャップ回収に取り組んでいる。集めたボトルキャップが車椅子の購入資金として活用される意義を児童に話すと、毎日のように回収ボックスのペットボトルキャップが増え、今年度も1万個を超えた。回収の呼び掛けの放送やポスターの作成、掲示、教職員による啓発などが功を奏していると考えられる。来年度は更に多くの回収数を目指したい。家庭で集めたキャップが、続々と集まってくるペットボトル回収。来年度もぜひ継続して取り組んでいきたいと考えている。キャップは、3月に回収センターへ運ぶ予定である。

② 掃除抜き打ちチェック

今年度も「掃除抜き打ちチェック」を行った。2月27日～3月3日の期間で「ドアのレール」「黒板全体」「棚の角」の3つの箇所を環境委員会の児童が各教室を見回り、アドバイスをを行った。きれいなところには、チェックシートにシールを貼っていくなど、チェックするというよりは、イベントの一つとして捉えながら楽しく取り組んでいた。ひと月前から啓発ポスターを作成したり、放送で全校に呼び掛けたりして周知を行った。期間終了後も隅々まで丁寧に掃除する姿が見られている。

<折立小「全校クリーン作戦」>

夏休み明け8月26日（金）の1校時に、全校で3年ぶりに除草作業を行った。開会行事後に学年ごとの除草の割り当て場所へ移動し、どの学年も精力的に草取りを行っていた。来年度は感染状況を考慮しつつ、ぜひ保護者にも呼び掛けて一緒に活動し、環境緑化への意識を高めていきたい。



<折立ハーブ園を作ろう>

児童棟1階は、向かいに林があるため、春から夏にかけて虫たちが教室にやってくることもしばしばである。そこで、教室前の花壇の一角に虫除け効果のあるラベンダーやタイムなどのハーブを植えた。殺虫剤を使うことなく、環境美化にも効果のある方法として、来年度は2つある花壇のうちの1つをハーブ園にし、観賞用や教材用として整備していく予定である。



<ゴミの細分化>

本校の技師が以前清掃センターに勤務していた経験を生かし、ゴミの分別に関するOJTを教職員に実践した。清掃センターの方々のゴミ収集や分別の苦労を知ることができた貴重な経験となった。その結果、職場のゴミの分別に対する意識が高まっている。職員の意識の高まりを、児童や家庭へと広めることができるよう、エコロジーの大切さを伝える機会を設けていきたい。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

様々な実践を通して、児童や教職員のエコへの関心や実践的態様が少しずつ変容してきている。ボトルキャップ収集や、全校児童が集めた草の束を見て、一つ一つの小さな実践が全てにおいて意味があること、環境が人や自然に及ぼす影響、個人の小さな思いや行動が、皆で力を合わせていくと、大きなことへつながっていくという意識が生まれてきたように思う。来年度は更なる実践の幅を広げ、エコ活動からSDGsへ視野を広げられるように実践していきたい。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	49	学校名	仙台市立八木山小学校	校長名	鈴木 一生
------	----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル

エコ・スマイル 八木山小



2 取組の紹介

○ 全校での取組

1 全校除草作業

夏休み明けの8月末から9月上旬まで除草作業週間を設定しました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全校一斉の活動ではなく、クラスごとに除草作業を行いました。短時間での作業でしたが、「自分たちの校庭をきれいにする」という意識を持って、取り組む姿勢が見られました。

2 全校奉仕作業

11月14日(月)には、学区内にある八木山動物公園で奉仕作業を行いました。八木山小学校では、動物公園が休園となっている月曜日に動物公園の御厚意で奉仕作業をさせていただいています。各学年が決められた場所の清掃や、花壇の花植えなどを行いました。地域の環境美化に努める意識を高める活動となりました。



全校奉仕活動 花壇の花植えの様子

○ 学年での取組

学級活動では、「食に関する指導」の授業を行いました。太白学校給食センターの栄養士から食べ物の栄養について話を聞いたり、バランスのよい献立を考えたりする活動を行いました。食べ物を残すことで栄養が偏ってしまうことや環境に影響があることを学習しました。



太白学校給食センターの栄養士の方に授業をしていただきました

3 取組の成果

- (1) 校庭の除草作業に取り組むことで、「自分たちが普段使っているところをきれいにしていこう」という児童一人一人の意識が高まりました。また、普段の清掃活動においても、以前に比べて丁寧に取り組む姿勢が見られるようになりました。
- (2) 全校奉仕作業をとおして、学区である八木山地区への関心が高まりました。地域の一員としての自覚を持ち、「地域のために自分たちができることは何かあるのか」について考える児童も増えてきました。
- (3) 自分たちの食生活を振り返り、「苦手なものでも一口は食べる」「残食を減らす」など食への関心を高めました。

令和4年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	50	学校名	仙台市立鶴谷小学校	校長名	小田 暁
------	----	-----	-----------	-----	------

- 1 取組のタイトル, テーマ
「心に花を 美しくきれいな鶴谷小学校へ」



- 2 取組の紹介
(1) 緑化活動

鶴谷小学校では、毎年春と秋に花植え活動を行っています。朝や休み時間などに自分たちで雑草を抜いたり、水やりをしたり、季節の変化とともに花の成長を楽しんでいます。

- (2) クリーンプロジェクト

11月10日、鶴谷中学校区小中4校が連携し、清掃活動を行う「クリーンプロジェクト」を実施しました。鶴谷小学校では、地域の美化を図るため、全校児童で校庭や学校近くの鶴ヶ谷4丁目東公園の落ち葉拾いや持ち帰り可能なゴミを拾いました。

今年度は、コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、兄弟学級で行いました。拾った落ち葉は、80袋を超える数になりました。自ら地域の清掃活動に関わることで、普段から地域の公園をきれいに保とうと考える機会になりました。



- 3 取組の成果 (児童生徒の変容)

今年度は、コロナウイルス感染症の影響で、様々な活動が制限される中、子供たちなりに、自分の生活を環境と関連付けて考えることができました。

自分たちが過ごす学校を、美しい場所にするためにどう活動したらいいのか考えることもできました。今後も環境を大切に、美しい学校を意識した生活ができるよう活動を継続させていきます。